

平成 23 年 (2011 年) 5 月 31 日発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

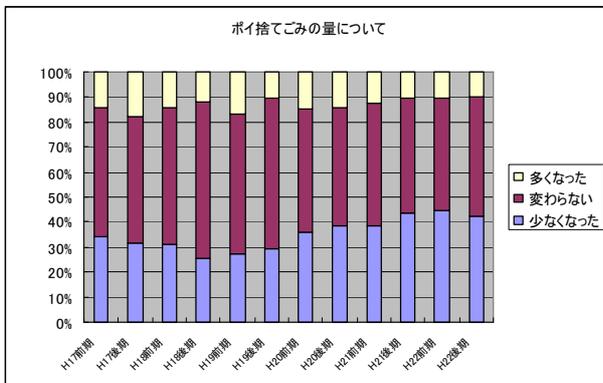
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

平成 22 年度 ポイ捨てについてのアンケート集計について

滋賀県ではポイ捨てについてのアンケートを行っており、このたび結果がまとまりましたのでお知らせします。このアンケートは、平成 17 年度から継続的に実施しており、県内各地で平成 22 年度上期の調査では 709 人、下期の調査では 874 人の方にご協力をいただきました。アンケートでは、ポイ捨てごみの量についての意識や、滋賀県ごみの散乱防止に関する条例（通称：クリーン条例）の認知度の調査を行いました。

ポイ捨てごみの量については、40%以上の方が以前と比べて少なくなったと答えていただいています。これは、エコフオスター活動を行っていただいている皆さんをはじめ、多くの方々の活動の結果が出たものと感謝しています。その一方、50%近くの方は以前と変わらないと感じておられ、引き続きポイ捨てごみの削減に努めていきたいと考えております。

一方、クリーン条例の認知度は、20%程度と横ばいの状況が続いています。県では今まで以上にクリーン条例の周知を図っていきたいと思います。



(循環社会推進課)

エコフオスター紹介〈甲賀管内〉

上野まちづくり委員会

活動場所：主要地方道県道 4 号草津伊賀線

(上野交差点～油日交差点)

上野まちづくり委員会は、平成 15 年から上野地区を中心にボランティア活動を行っておられる団体で、淡海エコフオスター活動の趣旨にご賛同いただき、上野地区の清掃活動に取り組まれています。



取材当日の活動参加者は 12 名でしたが、通常は約 20 名の方が参加され、月 1 回、第 2 土曜日の午前 9 時から午前中にかけて草刈りや散在性ゴミの清掃作業をされています。また、道路路肩に花を植えることにより、道行く人が癒されるよう活動されています。

活動区域の道路は、大型車の交通量が多く、ポイ捨てゴミが年間を通して多くあるそうです。活動当初は空き缶やペットボトル、瓶、紙類など大量に回収されたそうですが、道路脇の草刈りを行い、できるだけ美しい状態を保てるよう努力しておられます。美しいゴミを捨てにくい環境を作ることで、ゴミのポイ捨てが防止されるよう努めておられるとともに、こうした活動を、地域の方に呼びかけ、少しでも多くの方に参加していただくことにより、活動を盛り上げ、環境改善を進めようと励んでおられます。

また、子供たちの環境に対する意識が向上することを願い、自分達の活動内容をパネルにして、近くの小学校で出前授業を行っておられます。今回の取材を通じて、和気藹々とした明るい



雰囲気の中で行われていることが感じられ、これからも、益々大きな活動の輪が広がっていくことを確信しました。(甲賀環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介〈東近江管内〉

キタイ設計株式会社

活動場所：県道安土西生来線

(安土駅～下豊浦交差点および周辺道路)



キタイ設計株式会社は、平成12年1月にISO14001の認証を受けたことをきっかけとして、平成14年1月に淡

海エコフオスターに登録され、環境美化活動に取り組んでおられます。平成16年11月には、本社の移転に伴い活動場所を現在の県道安土・西生来線（加賀団地～ローソン安土上豊浦店）の800m区間に変更されました。

環境美化活動は社内の各部署が持ち回りで月1～2回実施され、1回あたり6～10名でゴミ拾いや除草を実施されています。他に、環境保全の取組として、地元・西の湖で行われるヨシ刈りにもボランティアで参加されています。

同社の担当者にご感想をお聞きしたところ、清掃をしていると近所の方や通りすがりの方と挨拶を交わすことがあり、中には「ご苦勞様です」と言葉をかけて下さる方もあって、地域と人のつながりを、環境美化活動を通じて感じられたとのことでした。このお話に、私たち



まで心温まる思いになりました。

捨てられているゴミは、たばこの吸い殻・空き缶・食べ

物の包み紙などポイ捨ての典型的なゴミですが、以前からゴミの種類、量はあまり変化がないそうです。また、同社では、環境美化活動を通じ、社員の環境意識の向上や、地域の環境が良くなることを願って環境美化活動を続けられているとのことでした。

(東近江環境・総合事務所環境課)

平成23年度 環境美化の日について

滋賀県では、「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例（通称：クリーン条例）」において、5月30日、7月1日（びわ湖の日）、12月1日の3日間を「環境美化の日」と定めています。

「環境美化の日」を基準日として、前後2週間程度の期間に県、市町、各団体・企業などが主体となって、県民総参加で環境美化運動を行っていただいています。

このたび、23年度の活動期間が下記のとおり決まりました。皆さんのお住まいの市町でも、この期間を中心に様々な清掃活動が実施されると思いますので、エコフオスター団体の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。



ロゴマーク

(成安造形大学 三枝美晴さん作)

ごみゼロ大作戦

基準日 5月30日 期間 5月22日～6月5日

びわ湖を美しくする運動

基準日 7月1日 期間 6月25日～7月10日

環境美化の日 環境美化運動

基準日 12月1日 期間 11月20日～12月4日

(循環社会推進課)

発行

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

電話 077-528-3492 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 23 年(2011 年) 6 月 30 日発行

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介 湖東管内

キリンビール株式会社滋賀工場

活動場所：甲良多賀線ほか道路

(多賀西信号～犬上大橋信号)

キリンビール株式会社滋賀工場は、多賀町敏満寺に所在し、ビール・発泡酒・清涼飲料を製造されています。



清掃活動は、エコフオスター制度以前を含めると10年を超えており、「1・2・参・4・5運動」と名付けて、工場周辺の清掃を定期的に行う活動をされています。

「毎月1回・第2火曜日・全員参加・40分・参加率は職場の5%」が合言葉で、去年の清掃参加人数は延べ244人、参加者の内訳は社員を始め臨時従業員、パートナー会社従業員などで、活動範囲は工場周辺道路を中心に清掃活動をされています。

拾うごみは、ペットボトル・空き瓶・空き缶・タバコの吸い殻・ビニール袋等です

取材に伺い担当者さんに活動効果の実感を聞い

たところ、「ゴミの量は確実に減っています。以前はごみを運ぶ台車が3台必要だったのが、今では1台で済んでいます。又、活動に参加することによりごみの散乱が気になり、ごみを捨てない自分がいることに気づいたと思います。集めたごみは誰の指示がなくても分別が出来ていて、清掃活動が定着した実感があります。」と継続することの大事さを強調しておられました。

また、活動する上での苦勞としては、道路でスピードを出す車が多く大変危険である。このため、対策として車の状態を見る係を置き、赤色の目立つ統一ジャンパー・蛍光色のタスキを着用し、安全を期しているとの事でした。

普段の活動以外に、5月30日(多賀町美化活動)花火大会環境美化活動(彦根市松原水泳場)琵琶湖森林づくりパートナー協定に基づく、多賀町高取山への植林や下草刈りにも活動されています。

取材を終えて感じた事は、「1・2・参・4・5運動」の様に、わかりやすく楽しい合言葉で、従業員の皆さんが協力して明るく「環境活動」に熱心に取り組んでおられる様子がとても印象的でした。



(湖東環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 湖北管内

三菱樹脂株式会社長浜工場

活動場所 県道中山東上坂線、長浜近江線、市道
参加人数 28人 会員数95名

三菱樹脂株式会社長浜工場は平成18年9月5日に、エコフオスター活動の協定を締結され、以来、工場の周辺道路の清掃活動に取り組まれています。活動は毎月1回第3水曜日に行われています。



訪問した当日は肌寒く時折、時雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、かなり広い活動区域をてきぱきと短時間で多くのごみを回収されていました。

落ちているごみの種類は、たばこの吸い殻、缶、瓶、食べ物容器や包装等が主なものということでした。「何でも落ちている」、「1ヶ月たつとまたごみがたまる」というのが活動をしていて感じることだそうです。それでもごみの量は以前に比べて減ってきていて、活動を続けていくことが大事だと感じるとおっしゃられていました。

清掃活動していると、よく「ご苦労様」などと声をかけてもらうことがあり、周辺の住民の方々にも取り組みを評価してもらっていると感じることでした。

活動を行ううえでの苦労等については、通行量の多い道路の周辺で行う活動なのでメンバーの安

全には特に気をつけているとのことでした。



(湖北環境・総合事務所環境課)

「びわ湖の日」30周年

「びわ湖の日」は、昭和56年に開催された「身近な環境を考える会」において、会場から、県民一体の環境保全活動日を「7月1日」としてはどうかとの提案があり、翌57年7月1日が第1回目として実施され、今年で30回目となります。

この間、7月1日は、平成8年に「滋賀県環境基本条例」で「びわ湖の日」として規定され、また同年、「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」で「環境美化の日」として規定されています。

毎年、この7月1日を基準日とし、前後2週間に約13万人～15万人の県民の方々が清掃活動に参加くださっています。

今年は、30周年記念シンポジウムが7月10日にピアザ淡海で開催されます。

そのほかにも、各地域で多彩なイベントが開催されますので、ぜひご家族でご参加ください。(循環社会推進課)



発行

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 23 年(2011 年) 7 月 1 5 日発行

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

540 k g の散在性ごみを回収しました

滋賀県と福井県を結ぶ国道 303 号線は、住居から離れた山の中でありながら、散在性ごみが非常に多い区域です。今回、地元の要望を受けて区域の中でも特にごみを捨てやすいと思われる駐車帯を閉鎖することになり、それに先駆けて清掃活動を実施しました。

6 月 2 8 日(火)、土地の所有者(自衛隊今津駐屯地)や道路管理者(高島土木事務所)、および高島市、高島環境・総合事務所の総勢 37 名で、今津町北生見のチェーン脱着場など 3 地点を 1 時間余りかけて清掃した結果、コンテナバッグ 5 枚分(総計 540kg)のごみを回収しました。

現在はキレイになっていますが、根本的にポイ捨てが無くならないと、いずれまたごみが貯まってしまう可能性があります。国道 303 号線の自然豊かな景観を維持し、ドライバーの皆さんが快適に走行できる道路にするためにも、県では散在性ごみ対策にさらに力を入れて取り組んでいきます。



(高島環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 高島管内

今津町農業協同組合

活動場所：蘭生日置前線(日置前平ヶ崎交差点～
JA今津町カントリーエレベーター)

今津町農業協同組合では、本店 8 名、総合営農センター 8 名、東支店 4 名の計 20 名の職員が 2 班に分かれて、交代で環境美化活動をされています。



取材当日は 9 名の参加者でした。活動は、本店前から 3 箇所に分かれてそれぞれ 2 km ほどの範囲で行っています。活動距離が長いため、雑誌や傘などの重い物や大きい物を運びながらの作業が大変だということです。



ごみの量については、雪が積もっている季節は活動ができないため春先は多くなるといった、降雪量が多い高島ならではの状況があるようです。

活動をしていると、人通りが多くない場所でも「ご苦労さん」と声を掛けられ、そういった場面

で活動の効果を感じられるそうです。

しかし、回収してもまたごみが散在してしまうのも事実で、「なぜこんなごみが落ちているのか、捨てられているのかと思うことがある」と話され

ていました。今後も根気強く環境美化活動に協力していただいて、みんなで町をきれいに保ってほしいと思います。

(高島環境・総合事務所環境課)

7月1日「びわ湖の日」びわ湖を美しくする運動へのご参加ありがとうございました

昭和56年から続く「びわ湖の日」に県民の皆様のご協力をいただき、県下全域で環境美化活動が実施されました。県実施区域における概要は次のとおりです。

雨が降る中にもかかわらず、ご参加いただきました皆様に心から感謝いたします。

1. 参加人数 4,263 人

地域・参加者別	大津	南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	合計
					6月26日		7月2日	
企業・団体・県民	237	160	130	67	1,545	1,145	69	3,353
行政関係職員	175	54	44	95	75	455	12	910
合計	412	214	174	162	1,620	1,600	81	4,263

2. 回収したごみの量 約 18,791 kg

	大津	南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	合計
					6月26日			
可燃ごみ	400	250	100	250	10,800	2,000	1	13,801
不燃ごみ	150	0	15	230	460	2,100	0	2,955
カン類	53	20	5	-	-	-	2	80
ビン類	35	20	3	-	-	-	36	94
その他	45	50	0	-	1,760	-	7	1,862
合計	683	340	123	480	13,020	4,100	46	18,791



なぎさ公園



雄琴港



柳が崎・鏡浜

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

電話 077-528-3471 FAX077-528-4845 eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 23 年(2011 年)8 月 10 日発行

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介 湖北管内

利高工業株式会社滋賀工場

団体名 利高工業株式会社滋賀工場
活動場所 一級河川土川堤防道路、県道長浜近江線他工場周辺道路



利高工業株式会社滋賀工場は米原市長沢に所在し、平成18年12月にエコフオスター活動の協定を県と締結されています。協力会社も含めて330人が5班にわかれて班毎に持ちまわりで、毎週金曜日の12時45分から会社近くの一級河川土川の堤防、県道長浜近江線や工場周辺道路で清掃活動をされています。土川堤防については草刈りも年1回行っているそうです。また、毎週のエコフオスター活動の他、びわ湖の日・環境美化の日・ごみゼロの日には100名を越える社員が湖岸清掃に参加されています。



訪問した当日は風が強く、いまにも雨が降り出しそうなあいにくの天候でしたが、かなり広い活動区域をてきぱきと清掃をされ、短時間で多くのゴミを回収されていました。

落ちているごみの種類は、たばこの吸い殻、レジ袋等が多く、特に夏場には空き缶、瓶、ペットボトルのゴミが多くなるそうです。それでも活動の効果もあり、ごみの量は以前に比べて減ってきているとのことでした。

活動を行う上での苦労は、エコフオスター活動の開始当初は会員の動機づけを行うのが難しかったそうですが、今では会員の意識が向上してきているので、主体的に活動が出来ているとのことでした。

(湖北環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 甲賀管内

湖南団地友輪(ゆうりん)クラブ

団体名 湖南団地友輪(ゆうりん)クラブ
活動場所 主要地方道彦根八日市甲西線(湖南市茶釜川周辺 若竹町~水戸町)



湖南市の湖南団地友輪クラブは、平成15年7月から活動を開始されています。

毎月1回、第2木曜日午前9時から清掃活動をされており、各自がゴミ袋と火ばさみを持ち、家の玄関を出たところから、集合場所までゴミの回収をしながら向かわれるとのことでした。

会員数は40人で、平均年齢は83歳ということでしたが、とても元気に活動されていました。



会員の方にお話を伺うと、最近のごみの量は

幅に減少してきているとのことで、「以前はごみ袋いっぱいになっていただけ、今では半分くらいに減っているよ。」と明るく元気な声が返ってきました。

なお、今後も楽しく活動を継続していくために、温泉旅行や絵画展、植物園の見学会なども計画しているとのことで、清掃活動を通じて親睦を深め、いつまでもお元気でご活躍いただきたいと思いました。

(甲賀環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 南部管内

イシダ・エコフオスター

団体名 イシダ・エコフオスター

活動場所 栗東志那中線



「イシダ・エコフオスター」さんは、(株)イシダ滋賀事業所の従業員の方たちのグループで、平成16年2月に結成されました。

毎月1回、業務終了後の夕方(冬場は早朝)に活動されており、「県道栗東志那中線」の下鉤橋から下鉤交差点までの約500mにわたり清掃活動をされています。



当初はボランティア登録メンバーだけで活動されていたため、参加者は7名前後と少なかったの

ですが、社内にポスター掲示や社内放送するなど、従業員全員に参加を呼びかけたこともあり、今では15名前後の参加者があり、多いときには30名近くになるそうです。また、事業所長自らが率先して参加されていることも、活発な活動につながっているとのこと。平成22年度は、のべ194名の参加がありました。

ごみはたばこの吸い殻が多く、そのほか、飲料缶やペットボトルもところどころに捨てられているようで、場所としてはバス停や交差点付近に多いそうです。しかし、活動範囲にコンビニがある割には、比較的にごみが少なくきれいな環境であるとのこと。

この活動を通じて、従業員全員に5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)の取組(考え方)が広がってきていることはうれしいことだとおっしゃっていました。

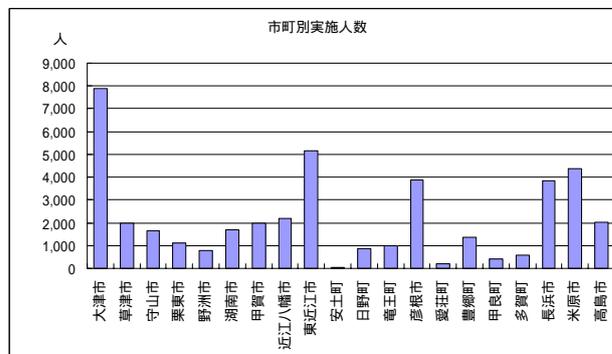
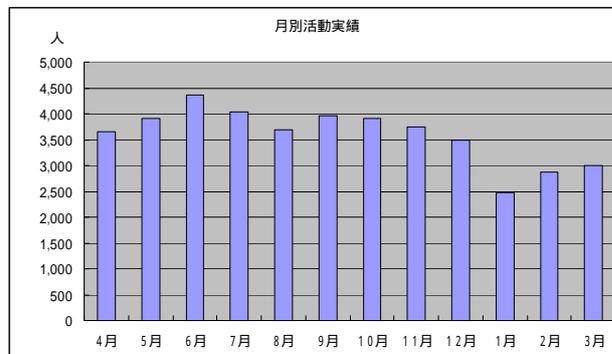
(南部環境・総合事務所環境課)

平成22年度淡海エコフオスター活動状況

平成22年度のエコフオスター活動参加者は延べ43,105人でした。

474団体・企業の方々に参加いただきました。

美化活動へのご協力ありがとうございます。



発行
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845
eメール df00@pref.shiga.lg.jp

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

びわ湖の水草を除去しました

8月4日(木)に琵琶湖環境部で大津市内湖畔の水草除去を行いました。

水草は、南湖で2000年頃には面積の50%で繁茂し、現在は全面に分布しています。異常繁殖の原因は、水位の低下や透明度の上昇、湖底の泥質化など、複合的であると考えられています。

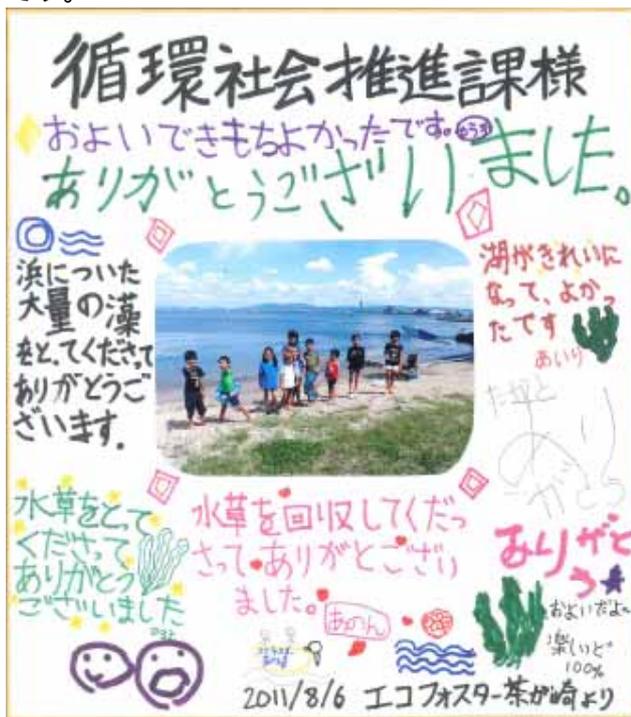
この水草が切れ、湖岸に押し寄せるとたちまちに腐り、悪臭を放ちます。

「エコフオスター茶が崎」から水草処理の相談を受けていた当課では、この日に琵琶湖環境部琵琶湖政策課が浜大津一帯の水草除去を行うのに併せて、茶が崎の水草を処理することとしました。

自治会副会長さんたちと当課職員8名が2トトラック2台分の水草を積み込みましたが、なかなか体力のいる作業で、翌日は筋肉痛を訴える職員もいました。

しかし、その後、うれしいお礼が届きました。

お母さんと一緒に小学生が当課を訪れ、エコフオスター茶が崎代表のお礼状と寄せ書き色紙を頂戴しました。思いがけないお礼に職員一同感激です。



(琵琶湖環境部循環社会推進課)

長野クリーンクラブ

団体名 長野クリーンクラブ

活動場所 主要地方道愛知川彦根線(国道8号から西へ700mまで)

長野クリーンクラブは、県道・愛知川彦根線の愛荘町・長野地区で清掃活動されている住民ボランティア団体です。

団体を結成されるきっかけとなったのは、県道沿い遊休地ごみ捨て場を解消したいとの思いからだそうです。県道が整備される以前は信号付近の道路が狭く、その付近の遊休地の草むらが格好のごみ捨て場となっていたそうです。それを見かねた道路沿いの水田の地権者の皆様が集まり、今から7年前に清掃活動団体を結成されました。

現在構成人数は、18人(40歳代後半~70歳)であり、月一度の清掃日には、毎回5人~10人が参加されています。



活動当初はすごいごみの量(大型のプラスチック箱、十数箱)で、なかには、紙おむつなどでもないごみ等もあったそうですが、清掃活動を続けた結果、現在では大型のプラスチック箱1箱にも満たない量まで減少したそうです。ごみの種類は、ペットボトル・空き瓶・空き缶・タバコの吸い殻の他、弁当殻・雑誌・金属片もあるようです。

清掃活動が今まで続いた秘訣を代表の方に聞いたところ、次のように言われていました。「年度当初に1年間の活動計画を立てますが、あくまで自由参加を原則とし、自分自身が清掃活動に参加出来る場合には楽しく参加する。決して無理せず、和気あいあいとやることです。」と笑顔で語っていただきました。

また、清掃作業の服装を統一するため、4、5年かけて全員統一の帽子やクリーム色のクラブ名入り刺繍ポロシャツ・防寒ジャンパー・長靴などを購入し、仲良く活動されています。

このような日頃の清掃活動が長野地区の住民に

受け入れられ、現在では地元子供会や老人会、地域で活動している工場にも拡がりを見せ、「裾野が益々大きくなっているのを感じる」と力強く語っておられる様子が非常に印象的であり、感動しました。



(湖東環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 大津管内

柳川を愛する会

団体名 柳川を愛する会
活動場所 県道下鴨大津線(柳が崎信号から県道伊香立浜大津線)、一級河川柳川
「柳川を愛する会」会長の中原真二さんにお話を伺いました。

会の結成は昭和59年で、当時、地域には、婦人会、青年会があり、壮年会もつくりと中原さんが提唱し、会の前身となったそうです。何か社会に役立つことをしたいという崇高な志と遊びも兼ねての提唱だったそうです。

当時は下水道も普及しておらず、川が汚れた状況であったため、まずは川掃除から始められました。昭和62年9月には大津市の河川愛護団体に登録しておられます。



淡海エコフオスターは平成17年6月24日に合意書を取り交わしておられますが、以前より神宮道(昭和15年に建立された近江神宮の参道)を掃

除しておられ、観光バスや乗用車の通行量が多く、たばこの吸い殻、食品包装のプラスチックごみ、空き缶が相当捨てられるとのことでした。

また、一級河川柳川の清掃も実施しておられますが、この川は、上流部が、コンクリートの3面張となっており、短い河川であるため、少し激しい雨が降ると、一気に水が流れ、下流部では、上流で捨てられた包装紙やカップめんの容器等が流れ込むそうです。会では、年に5回の草刈りと併せ、河川の清掃を実施しておられます。



会の構成員は50名で、年齢は65歳から75歳くらいの方々が中心となっております。

実施時期は、5月～9月の毎月と、2月で、最近では160戸ある自治会に呼びかけ、一緒に活動しておられます。



柳川を愛する会は、エコフオスターの他にも「身近な水環境の全国一斉調査」や「琵琶湖・淀川水系水質調査」にも参加しておられ、志賀小学校では、昔の柳川の話等の出前授業も行っておられ、事業実施後は「瓦版やながわ」を発行するなど広報活動も行っておられます。

環境全般に関心を持ち、地域と密着した活動を展開しておられる「柳川を愛する会」の皆様のみますご健康とご活躍をお祈りいたします。

(琵琶湖環境部循環社会推進課)

発行

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成23年4月以降の合意団体

- ・今津西小学校（高島市）
国道303号（高島市今津町保坂地先）
- ・株式会社 山協（草津市）
県道大津守山近江八幡線（草津市木川町地先）
- ・昭和電工株式会社彦根事業所（彦根市）
県道神郷彦根線ほか周辺道路（彦根市南河瀬地先）
- ・有限会社 フットワーク（草津市）
県道大津能登川長浜線（草津市岡本町、青地町地先）
- ・有限会社 マツヤマ（東近江市）
県道五個荘八日市線（東近江市妙法寺町地先）
- ・ヤンマー(株)永原工場（長浜市）
八田部川、県道303号線（長浜市西浅井町庄地先）